

アゴラ通信 No.258

2016年7月

〒631-0812 奈良市秋篠早月町 10-10-408

TEL/FAX 0742-93-3485

URL/ <http://www1.kcn.ne.jp/~agora/>

↑アゴラ通信バックナンバーは上記 HP でご覧下さい。

認定 NPO 法人アゴラ音楽クラブ

URL/ <http://www.agora-mc.com/>

 <http://www.facebook.com/agoramusicclub>

カエルのうたが、きこえてくるよ♪

田んぼに水が張られ、大空を映す鏡のようだなあ、と眺めているうちに田植えが始まり、いまや美しい緑の苗がすくすく育って太陽の光を受けています。
こんな平和な風景、いつまで続くでしょうか・・・



アゴラ通信 258 号の CONTENTS

- ・ ツーリーの
続「こんな台湾を知っていますか？」 (60)
- ・ インドネシアよもやま話 (4)
- ・ パソコンであんなことこんなこと (75)
- ・ Leaf' s “English at a glance” (96)
～Don't count your chickens～
- ・ アレルギーの診察室から (60)
～がん 4000 年の歴史～
- ・ ドイツだより (119)
- ・ Marikolog
- ・ あとがき



ツリーの

続「こんな台湾を知っていますか？」⑥

並木由香

はじめまして、熊讚 BRAVO です。

先日、前高雄市政府副秘書長の蘇麗瓊さんから、可愛らしいクマちゃんの写真がLINEで送られてきました。このクマちゃんは、台湾固有種である台湾黒熊(タイワンツキノグマ)の「熊讚 BRAVO」で、2017年に台北で開催される、世界大学運動会(台北ユニバーシアード競技大会)のマスコットキャラクターだそうです。「熊讚」は「最高」という意味の台湾語「尚讚」と同じ発音、ということから命名されたのではと思います。「讚(ザン)」は「素晴らしい」という意味で、ほっぺが落ちそうなくらい美味しいお料理を食べた時には、親指を立てながら「讚！」と言ったりします。

熊讚は、まだ実習生という肩書だそうです。正規のキャラクター昇格を目指して、日々台湾各地に出発し、PRに努めているということです。游明龍氏デザインの大会ロゴマークは、オリンピックカラーを使用し、台北の「北」と University の頭文字「U」を組み合わせ、より早くより遠くへ走り抜ける姿をイメージしています。

蘇さんは2014年12月に台北市政府秘書長に就任され、柯文哲台北市長の右腕としてご活躍中です。更に、台北ユ

ニバーシアード競技大会の最高責任者である執行長として、一大イベントの成功に向けて奮闘中でいらっしやいます。ユニバーシアードは二年に一度開催される大学生のオリンピックで、前回は2015年に韓国の光州(クァンジュ)で開催されました。その閉会式には、柯文哲台北市長も出席しました。先日辞職した某都知事が、リオデジャネイロオリンピックに行って、どうしてもやりたかったらしい、大会旗の引き継ぎ式もされました。

台湾の新聞や報道番組では、「柯P」という言葉をよく目にするのですが、これは柯市長のことを指しています。彼は2014年に台北市長に初当選するまでは、全国一位で医師資格を取得した後、台湾大学医学部で救急救命や臓器移植に携わった、大変優秀な外科医でした。台湾大学医学部で「柯プロフェッサー」を略して「柯P」と呼ばれていたことから、現在は「柯プレジデント」の意味で、引き続き「柯P」と呼ばれています。昨年の大晦日の台北市政府主催の年越しイベントでは、今を時めくアイドルや歌手たちがパフォーマンスを披露している舞台上、柯Pも五月天(ウーユェティエン。台湾の超人気ロックバンド。)の曲を熱唱しました。五月天のヴォーカル、阿信(アーシン)から直接歌唱指導をうけ、カラオケボックスでお稽古もしたけれど、本番では歌い出しから調子を外してしまい、思うようにはいきませんでした。これがまた愛嬌があつていいとニュースで話題になるという、市民から愛される市長さんです。台北ユニバーシアード競技大会の開催日程は2017年8月19日から30日です。来年の夏は、台北ユニバーシアードへ是非お出かけください。



低頭族(ティートウズー)

「低頭族」という言葉を目にすると、日本人なら平身低頭という言葉と関連付けて、頭を低くして恐れ入っている人の姿を思い浮かべるかもしれませんが、「低頭族」は確かに頭を低くする人達のことなのですが、「うつむき族」と訳せばよいでしょうか。「いつでも、どこでも、どんな場合でも、ひたすらうつむいてスマートフォンやタブレット端末などのモバイル機器を操作する人達、それを手放すことができない人達。」のことを言います。



要するに、スマートフォン中毒の人ということですね。確かにスマートフォンを操作する時は、皆うつむきますよね。良くできた言葉だと感心します。先日ニュースで、今年オリンピックが開催されるリオデジャネイロでは、路上でスマートフォンを手にした途端、間違いなくひたつられるので、決して路上でスマートフォンを操作しないように、と言っていました。そして命にかかわるかもしれないので、取られたものを取り返そうと、犯人を追ってはいけない、他人が被害に遭うのを目撃しても助けようとしてはいけない、と呼びかけていました。幸い日本も台湾も、そこまで治安が悪くないからか、両国とも低頭族は増加しています。

そういえばここ数年、台湾で、きっとこれは低頭族増加が関係していると思うことがあります。新幹線や地下鉄で、結構乗客がいるのに、車内がシーンと静まり返っていることが多くなりました。以前は、長時間大声で通話する人が多く、車内でウトウトできないほど、騒がしかったです。それが今では、大声で通話していた人達も、LINEなどのSNSを通じてコミュニケーションをはかるようになり、本当に車内は静かなものです。

さて、この低頭族、長時間うつむいていると身体に障害をきたす恐れがあるとか、社交の場面でもやめることができず、他人との会話が億劫になる人も増えるなど、弊害が多いのですが、危険なのは運転中でもやってしまう低頭族です。日本の場合は、中高生の自転車低頭族が多く、うつむいてゲームをしながら、平気な顔をしてスイスイ自転車をこいでいる、曲芸のような光景をよく目にします。これは安全運転義務違反で、3年間で2回摘発された14歳以上の運転者は、手数料を支払って3時間の自転車運転者講習を受ける義務が課せられます。その義務を果たさない場合は罰金も科せられます。台湾の場合、自転車は交通手段ではなく、スポーツとして楽しむので、自転車に対する罰則は聞きませんが、バイクは1000元(3000~4000円)、自動車は3000元(9000~12000円)の罰金が科せられます。何事も、やりすぎはよくありませんので、程々を心がけたいものです。

山本平頭

低頭族の話のついでに、もう一つ頭のお話を。

台湾の理髪店のウィンドウや看板に、「山本平頭」と書いてあるのをよく見かけます。右の写真の絵の様な、キリッと短く刈り上げた髪型のことを、台湾では山本平頭と言います。名前の由来は、第二次世界大戦時の連合艦隊司令長官・山本五十六の髪型だそうです。私にとっては、教科書に載っている歴史上の人物ですがありませんが、台湾では山本といえば五十六、山本平頭といえば五十六カットと、彼の名前は日常語として日本よりも浸透しています。



そういえば真珠湾奇襲攻撃の際の暗号も「新高山登れ」で、新高山は台湾の玉山のことですし、彼は案外台湾と縁がある人の様です。因みに「五十六」という名前は、彼の誕生時に、父親が56才だったことが由来だそうです。男性の方、この夏、涼しげな山本平頭になさっては如何でしょうか？

では、この辺で再見！！

インドネシアよもやま話

サポート 21・なら
馬郡 繁

第4回 インドネシアの食事情 その1

当初、今回のタイトルを「インドネシアグルメ事情」にしようかと思いましたが、グルメのみなさんも多く、私よりも詳しい方も多いかと思い、より日常生活に近いところを書いてみように変更しました。

①駐在員の食事情

私が駐在していた当時、日本の食材を扱うスーパーは、ジャカルタ市内に2つありました。ほとんどの食材は手に入ります。私はひとりなので買いませんでしたが、お正月のおせちのセットなども買う事が出来ます。価格は、感覚的には、日本の倍くらいだったと思います。来客や出張者との会食などが無い場合は、たいていアパートでスミさんの食事を食べていました。休日は、スミさんも休みなので、外で食べて(飲んで)帰ることになります。写真はジャカルタのスーパーの陳列棚です。値段の表示がインドネシアのルピア以外は、日本と変わらないと思います。



私の場合は、基本3食とも和食でした。朝食は納豆か、さけなどの焼き魚、漬け物、卵焼き、みそ汁にご飯が基本でした。何回か、スミさんと日本食スーパーに行き、私の好きな銘柄を覚えてもらいました。たとえば、納豆は小粒のものが好みだとか、みそはこの銘柄(奈良の家で使っていたもの)とかです。豆腐は、現地で作られています。朝はパン派の同僚もいましたが、西洋人向けのおいしいパン屋さんも沢山ありました。お昼は、前号で書いた様に、何もないとお弁当を作ってもらいました。おかずは、いろいろ工夫してくれて、お弁当用の冷凍食品も上手に使っていた様です。



卵は、加熱するものは現地産でしたが、たまごかけごはんなど生食の時は、日本からの空輸したものを購入していました。(ただし、値段は高かったです)牛乳も、ニュージーランド産のロングライフ牛乳を飲んでいました。卵、牛乳はエサに何を与えているのか不明なのと、当時は、日本の様にコールドチェーンが発達していなかったもので、安全第一で、地元産は避けました。野菜と果物はスミさんが、地元の市場で仕入れていました。おさしみもインドネシア近海物のまぐろなども手に入りますが、食べたい時は、外食の時に、和食店やすし屋で食べる事が多かったです。

②ローカルフード

インドネシアに限らず、中国や東南アジアでは、家に台所があるのは、中流以上の人達です。「ワーカー」と呼ばれる一般的な地方出身の労働者の家には台所が無いのが普通です。せいぜい、お茶を沸かしたり、ラーメンを作るコンロがある位です。また、結婚しても共働きが普通なので、自宅で食事を作る習慣はありません。お昼は、会社で食べるとして、朝・夕食は近所の食堂・屋台・フードコートなどで食べることとなります。この為、屋台がローカルフードの主体となります。地方出身者が多いので、地方の料理を食べさせる屋台も多くあります。写真はローカルフードの代表的なものです。中央にご飯をよそってもらい、好きなおかずを周囲にトッピングしていきます。取ったおかずの数で、お金を計算してもらい払います。もちろん、イスラム教徒が多いので、豚肉はありません。肉（牛・鶏）、魚をメインにして、野菜などを添えるのが一般的です。熱帯なので痛むのも早いので、たいていは、油で調理されています。



この他にも、皆さんよくご存じの、「ナシゴレン・焼き飯」「ミーゴレン・焼きそば」「アヤムゴレン・鶏のから揚げ」などは私もよく食べました。ゴレンと言う共通のワードは「揚げる・炒める」といった意味です。ナシはご飯、ミーはそば、アヤムは鶏です。特に、スミさんの作ってくれる「ナシゴレン」と「アヤムゴレン」は絶品でした。右の写真は、バダンという地方の屋台です。同じように、好きなおかずを選んで計算してもらいます。シンガポールでは、ホーカーズと呼ばれる、大きなフードコートがあちこちにありますが、ジャカルタでは、規模も数も少なかったです。



インドネシアの食べ物は、辛い印象がありますが、辛い物ばかりではありません。甘口の料理もけっこうあります。特に飲み物は甘いものを好むようで、お茶なども、甘いものがあります。インドネシアの調味料で欠かせないのが、写真の「サンバル」というチリソースの一種です。日本で言えば、おしょう油の様なものです。何にでもかけます。お店のテーブルにも必ず置いてあります。これで、辛さを自分の好みに調整します。今でも、我が家の冷蔵庫に常備しています。ピザやお好み焼きなどに使うのが好きです。輸入食材のお店で買う事が出来ます。日本に来ている研修生などに、差し入れてあげると大変喜ばれます。鶏のから揚げにたっぷりつけて食べるのもおいしいです。ちなみに、出張者が「本場のジャワカレーが食べたい」と言いますが、ジャワティーはあっても、ジャワカレーはありません。あれは、日本の食品会社の営業戦略によるものです。グリーンカレーという飛び上がるくらい、辛いカレーはあります。

つづく



パソコンであんなこと、こんなこと

 ハロー! パソコン教室 小林 俊彦

皆さん、こんにちは。ハロー！パソコン教室 富雄校の小林です。早いもので2016年も半年が過ぎ後半戦になりました。梅雨明け宣言はまだ発表されていませんが、7月に入ってから真夏の日差しで暑い日が続いています。今年は猛暑になるとの予報なので、皆さん、熱中症には十分注意してお過ごしくださいね。

ところで今年もアゴラハイムの1階では可愛いツバメたちが巣立ちました。今年はお隣の歯医者さんに4月に巣をかけて、親ツバメたちが頑張



って子育てをして、6月に入ってすぐ5羽が巣立っていきました。左の写真は巣立ち直前の夜になぜかヒナたちが全員後ろ向きに巣に止まって寝ている様子です。ここ最近アゴラハイムでは年に2回子育てが行われるようです。現在は2回目の子育て中のツバメもいるようです。全員無事に巣立ってくれると良いですね。



ところで6月30日は夏越の大祓でした。今年も桜井市の大神神社にお参りして茅の輪をくぐらせて頂き、今年前半の穢れを祓ってもらいました。多くの神社の茅の輪は輪が一つなんだそうですが、大神神社の茅の輪は三つです。そして茅の輪のくぐり方も普通の神社では茅の輪をくぐって左→中→右→中→左とくぐるようですが、大神神社の茅の輪の横にある説明では、中→右→中→左→中の順にくぐっていきません。今年大神神社では7月10日まで茅の輪が設置されているそうなので、この記事を読まれてすぐに大神神社に行かれたら、まだ茅の輪が設置されているかもしれませんね。



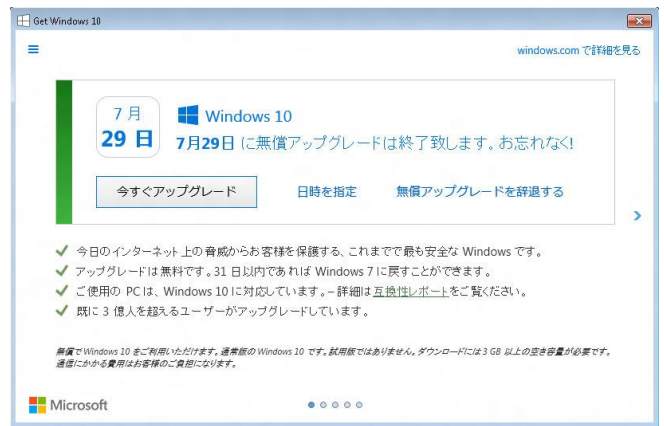
【Windows10】

Windows10への無償アップグレードの期限まで、いよいよ1か月を切りました。もうWindows10にアップグレードされた方も多いのでしょうか。結構気が付いたらWindows10にアップグレードされていて焦ったという方も多かったかもしれませんね。ハロー！パソコン教室 富雄校にも気が付いたらアップグレードされていて、動作がうまくいかないとのことで持ち込みサポートに来られた方もたくさんいらっしゃいました。

7月29日でWindows10への無償アップグレードが終了しますので、Windows10へのアップグレードのご案内も今回で最終回とさせていただきます。

Windows10へのアップグレードを辞退

今更な感じがしないでもありませんが、Windows10への無償アップグレードをしないという選択が、画面右下の通知トレイから表示されるWindows10への無償アップグレードの予約画面に登場しました。現在の無償アップグレードの予約画面は右図のようになっています。「無償アップグレードを辞退する」をクリックすると、無償アップグレードの予約画面のアイコンもタスクトレイに表示されなくなります。また以前の仕様ではこの画面の右上の閉じる(×)ボタンを押しても、アップグレードがスケジュール化される仕様になっていましたが、「辞退」の変更と同時に、「×」ボタンではスケジュール化されない仕様になったそうです。



Windows10へのアップグレードの後に

Windows7やWindows8.1からWindows10へアップグレードした場合、以前のOSのアップグレードに比べて旧環境をきっちりと引き継いでくれるようになっていました。したがってアップグレード後にいきなりWindows10を使い始めることができます。しかし一部はしっかりと確認しておいた方が良いでしょう。私の経験でうまく引き継ぎができていない項目は、ネットワークの設定とプリンターなど周辺機器のドライバなどです。

ネットワークの設定

ネットワークの設定をしていた場合は、引き継げない場合が多いようです。私の設定したパソコンでは、ほとんどのパソコンでコントロールパネルでの設定に加えて、共有設定をしていたフォルダーの設定も消えており、ほぼすべてのパソコンで設定をなおしました。

プリンタドライバ

使用しているプリンターのドライバは、USB接続、LAN接続ともほとんどのプリンターがアップグレード後もインストールされていました。しかしインストールされているプリンタドライバは全てマイクロソフトが提供する標準ドライバーになっており、各プリンターメーカーのオリジナルのドライバーはインストールされていませんでした。私の使用環境では、両面プリントの設定や複合機を使用したPC-FAXの送受信が必要でしたので、アップグレード時にインストールされていたドライバーをアンインストールしてしてから、プリンターメーカーのホームページからダウンロードしたプリンタドライバをインストールしなおしました。

以上でWindows10アップグレードに関するご紹介は終わらせて頂きたいと思いますが、最後におまけ

で GodModeをご紹介します。GodModeは「Windowsに関する様々な設定を1つの画面からできる機能」です。デスクトップにでも新規のフォルダーを作成し、名前を「GodMode.{ED7BA470-8E54-465E-825C-99712043E01C}」に変更してください。右図



のようなアイコンになるはずですが、このアイコンをダブルクリックすると、色々な設定がまとめられたGodModeのウィンドウが開きますので、興味のある方はお試しください。



ハロー!パソコン教室 富雄校

〒631-0076 奈良市富雄北1丁目12-4 アゴラハイム1F

TEL (0742) 46-4186 (ヨイハロー)

e-mail : info@hello-pc.co.jp

URL : http://www.hello-pc.co.jp/

Leaf's "English at a glance" 96

Larry Dodds / 西潤子

Don't count your chickens (before they're hatched)

熟語表現やことわざなどを比べてみると、英語と日本語という言語の違いはあっても、やはり同じ人間同士。よく似た意味合いの表現がたくさんあって、興味深く、また、文化的背景が違うので、使われている語彙に違いがあることに注目するのも面白いです。人間は、地球のこちらとあちらで、結局同じようなことをしているのだなあと思えます。

ではまず、今日の会話文から見ていきましょう。

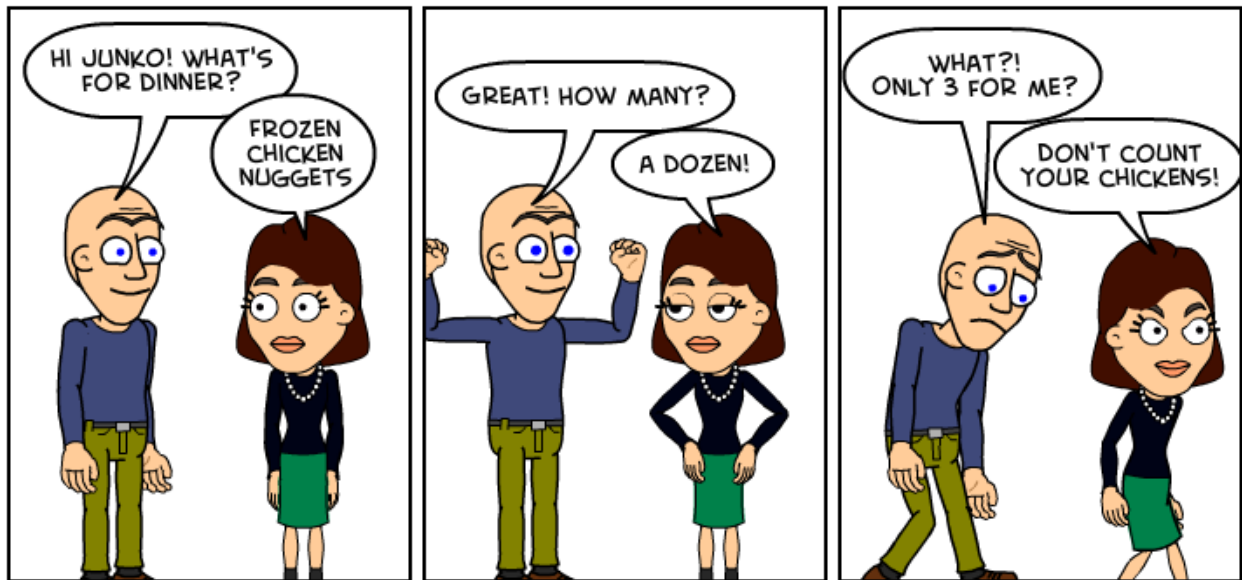
conversation – (with your friend)

- A: I'm going to buy a new car.
B: A new car?! I thought your car was new...
A: It's two years old.
B: So, why do you want to buy a new one?
A: My company is doing really well and I think I'm going to get a very big bonus this year.
B: Don't count your chickens! My bonus was cut in half last year...

友人二人の会話です。Aさんが、「新しい車を買うつもりなんだ。」と言うと、Bさんが、「新しい車?! 君の車、新しいと思ったけど・・・」と驚いています。Aさんが、「2年経つよ。」と答えると、Bさんは、「それで、どうして新車を買いたいんだい?」と聞いています。Aさんは、「うちの会社の業績、本当に良くて、今年は、すごくたくさんボーナスが出ると思うんだ。」と答えています。その言葉を聞いて、Bさんが今日の表現を使ってたしなめています。

Don't count your chickens (before they're hatched).は、そのまま直訳すると、「(鶏が卵からかえる前に、) 鶏の数を数えてはいけないよ。」ということですが、これはことわざ的表現で、つまり、Don't expect all your hopes to happen as you plan.(物事がまだはっきり決まる前に、その結果をあてにして、あれこれと計画を立ててはいけないよ)という意味になります。日本語でもよく似た表現があることに、ピンとこられたでしょうか。そうです、「取らぬ狸の皮算用 (をしてはいけない)」です。同じような意味のことわざに、同じく動物が比喩的に使われているのに、あてにして数えるのは、英語圏は鶏で、日本は狸の皮なのですね。Bさんは、昨年ボーナスが半分にカットされたので、期待しても裏切られるよ、と言いたかったのでしょうか。

では、今日のコミックです。



[1コマ目] ラリーが、「今日の晩ご飯は何？」と私に聞き、私が、「冷凍チキンナゲットよ。」と答えています。[2コマ目] ラリーが、「やったー！いくつあるの？」と、冷凍チキンナゲットごときに、嬉しそうにして聞いています。ここでは、晩ご飯があるだけでも、喜ぶべきことだという我が家の実情が推測されます。私が冷めた顔で、「12個よ。」と答えています。[3コマ目]「えっ?! 僕にはたったの3個だけ？」と、がっかりと肩を落とし、私は勝ち誇った顔で、今日の表現を言い放っています。「取らぬ狸の皮算用！（期待したら裏切られるわよ!）」お分かりでしょうか。ここでは、チキンナゲットとことわざの鶏をかけているのです。

このように、英語のことわざと日本語のことわざを比較してみるのも面白いかもしれません。言語と文化は、切っても切れない関係にあります。言語を習得することは、少なからず、その言語が話されている国の文化をも知るようになります。また、興味深い例が見つければ、ご紹介していきたいと思います。



奈良市富雄元町2丁目5-20(トミオプラザビル1F)

tel:0742-52-3933 fax:0742-52-3934

アレルギーの診察室から 60

— がん 4000年の歴史 —

土居 悟

2011年9月12日の読売新聞の記事ですが、当時国立病院機構大阪医療センターに勤務していた小児科医の楠木重範先生（当時36歳）が紹介されていました。先生は、子どもの頃にかんを発症しそれを克服した経験があります。中学2年で小児がんの一種である悪性リンパ腫を発症したのですが、その時は自分の病名を知らませんでした。抗がん剤治療で髪が抜け、副作用でふくれた顔を学校で「きしょい」と言われたこともありましたが、生死にかかわる病気だとは思いませんでした。自分の病気について知ったのは、医学部の実習で小児がん患者を診るようになってからでした。小児がん患者であっても、なるべく家族と過ごすようにしてあげたいし、元気なら遊べる環境を提供してあげたいというのが先生の願いでした。

その楠木先生は、治療中も質の高い生活を送れるように計画された小児がん治療施設「チャイルド・ケモ・ハウス」を、2013年4月に神戸市のポートアイランドに建設しました。小児がんの治療は短くて6か月、長ければ1年以上の入院治療が必要です。病院は闘病の場であるばかりではなく、生活の場となります。子どもは日々成長していくものですが、無機質な病院では困難なことが多々あります。家族（主に母さん）は日中はイスひとつで、夜間は簡易ベッドを使用して寝泊まりし、子どもに寄り添って生活します。これらの問題を解決したいという治療施設がようやくできました。

楠木先生が現在小児科医として活躍しているように、小児がんの治療成績は年々向上してきています。最近、医師でがん研究者であるシッタータ・ムカジー先生の『がん—4000年の歴史—』（ハヤカワ文庫NF、2016）を読みました。著者はがんの歴史について興味深く、広範囲に記載していますが、小児がん治療についても書いていました。1961年に米国テネシー州メンフィスのセント・ジュード病院に赴任した、当時36歳の腫瘍学者ドナルド・ピンケル先生は新しい白血病治療プログラムを開始しました。小児急性リンパ性白血病に対する、高用量併用化学療法を中心とし、脳脊髄液への抗がん剤注入や脳に残存するがん細胞を殺すための頭蓋への放射線照射も加えた、治療期間も2年から3年に延長した総力戦ともいえるべき強力な治療計画でした。当初、同じ病院の医師からも強烈すぎて毒性が強すぎるといわれた治療は、その後どうなったか。18年後の1979年に、ピンケル先生はそれまでに治療をおこなった278人の患者全員を再調査しました。その治療成績は80%の患者が治療終了後一度も再発していなかったという、それまでの常識を塗り替えるきわめて画期的なものでした。「小児急性リンパ性白血病はもはや不治の病とはいえない」と先生は論文に書きました。



このピンケル先生の名前をみて、とても懐かしく思いました。それは、私が大学を卒業した1977年当時、阪大病院小児科では小児急性リンパ性白血病に対して、すでにピンケル先生の論文に沿った治療がおこなわれていたからで、治療成績が向上していく途上でした。しかしながら、抗がん剤はがん細胞だけではなく正常の細胞にも働くので、副作用も強いものでした。また、すべての小児がんの治療成績が向上していたのではありませんでした。

がん細胞は不死を追い求めて、増殖し続けます。ムカジー先生は、がんの不死性は正常の生理機能から拝借してきたものだという説を紹介しています。多くの正常な臓器には、無限に再生できる幹細胞がわずかに存在します。骨髄の幹細胞の造血幹細胞はすべての血球を作り出すことができます。造血幹細胞は、ふだんはほとんどが活動停止状態にあり眠っているのですが、外傷や化学療法で血液が急激に減少すると、造血幹細胞は目を覚まし、急激に分裂し無数の血球を作ります。そして、血球が十分な数になると、未知のメカニズムで再び休眠状態になります。ある研究者は白血病細胞のなかに、無限に増殖する「がん幹細胞」が存在すると考えています。がん幹細胞は、正常の幹細胞を不死にしている遺伝子および経路を活性化することによって不死を獲得しています。しかし、正常の幹細胞とはちがって、生理的な休眠状態に戻ることができません。オペラの“さまよえるオランダ人”のように、がん細胞は死ぬことができずに全身をさまようかのようです。がん細胞の不死の探求は、われわれの多くの臓器に埋め込まれたわれわれ自身の不死の探求を反映していると著者は書いています。平均寿命が延びていくと、がんになる人の数は増えていきます。今も多くの人ががんと、いわば自分のなかの不死なるものと向き合って生活しています。

この本の解説を阪大の仲野徹先生が上手に書いています。がんの最新治療の免疫チェックポイント阻害療法についても触れています。がんは免疫系を抑制するようなブレーキをもっていて、免疫細胞からの攻撃をブロックしています。そのブロックをうまく解除することにより、免疫細胞ががん細胞を攻撃できるようにしてやろうという治療法です。実際に商品名がオプジーボという薬が発売され、一部のがんに効果が期待できるとされています。しかし、免疫細胞からの攻撃をブロックしているものを解除すると、正常細胞も攻撃される可能性があり、さらなる問題も現実のものとなってきています。がん4000年の歴史は、未完のまま今後も語り継がれていくことでしょう。

ドイツだより 119

新田 イエルマー 淑子

天候不順で雨が多く、洪水の害もあちこちであった5、6月でしたが、7月に入ってようやく夏らしい日が訪れる様になりました。

6月11日から始まったサッカーのヨーロッパ選手権がいよいよ終盤に入り、今夜はセミファイナーレでドイツ対フランスの試合が行われます。お天気も上々、夜9時開始の **Public Viewing** にはあちこちでどっと人が押し寄せてさぞ盛り上がることでしょう。フランスチームも開催国の面目をかけて張り切る事でしょうが、ドイツも世界選手権の覇者としての期待を背負って、これまで8回連続してヨーロッパ選手権で負けを喫していたイタリアチームと引き分け延長の末、“11m”のロシアンルーレットのような闘いを勝ち抜いたのです。ここに来て主力選手2人が怪我とペナルティーで出場不可となりちょっと苦しいところですが、そう簡単にファイナーレへの道は譲れません。

家の主人はチャーチルが遺した名言(?)「スポーツは殺人行為」をモットーにしているくらいで一英語のオリジナルは知りませんが、ドイツ語では **Sport ist Mord** となって語呂が良いのでよく引用されます。毎日のニュース番組でサッカー情報が占める時間の長いのをいつも批判しています。サッカー選手はローマ時代のグラディエイターみたいなもので(命がけのグラディエイターと巨額の契約金を稼いでいるサッカー選手を比べるのは随分な皮肉というものですが)愚民を政治経済から眼をそらせ現実逃避させる”飴と鞭”の“飴”なんだ、と宣いつつも、ワールドカップやヨーロッパ杯となると、やはりそれなりに楽しんでみえています。

今回は思いがけず初参加のアイスランドチームが、準々決勝まで健闘して話題をまきました。いかにもヴァイキングの子孫といった風貌の選手達が独特の”雄叫び”を上げて気合いを入れる姿が面白く、爽やかな新風を吹き込みました。国の総人口が33万人ですが、勝ち進むに連れて応援団も一万人に及んだと言う事ですから国民の3パーセントがフランスに出かけてきたわけですね。

一方、英国からはイングランド、北アイルランド、ウェールズの3チームが参加していましたが、イングランドはアイスランドに破れ去り、ウェールズが昨日のセミファイナーレでポルトガルと好戦しました。このチームはギャレット ベイルズというスターが一人で大活躍し続けて勝ち進んで来たのですが、強豪ポルトガルもようやくここに来て大スター、ロナルドが本来の力を発揮、ベイルズの尽力も及ばず2対0の結果となりました。それにしても長髪をちょんまげにして、あの広いフィールドをもの凄い勢いで駆け回る勇姿(14歳の時にすでに100m11秒の記録をもっていたそうです)にはすっかり見とれてしまいました。まさに”力と技”の結晶ですが、そこはしかしチーム競技のサッカーだけに、伝統のサッカー国ポルトガルのチームワークで(といってもいろんな国の強豪リーグで活躍する選手たちだけに、機能するまで時間がかかったのですが)ロナルドの出番をお膳立てして、ファイナーレへと繋げたのでした。シャイな優しい顔でどちらかというと小柄なロナルドがジャンプして大男達を飛び越えてヘディングを決める姿にまさに胸がすく思いでした。美しい！！

昨年11月のパリでのテロ事件で直接競技場がねらわれたりした事もあり、多いにテロ襲撃が心配されましたが、これまでフーリガン達が暴れてマルセイユやボルドーの街で被害があったもののテロの方ではなくて無事にここまで試合が進められて来ました。オランダ仏大統領もせっせと応援に見えていたようです。もちろん舞台裏では厳重な安全予防対策が実施されているに違いありませんが、どうかこのまま無事に平和にファイナーレ(”飴”)に踊らされる愚民の祝祭とはいえ)を終えられますように祈るばかりです。トルコ、パキスタン、イラクでのますます残酷で非情な事件が続く日々ゆえに。

marikolog

島本真梨子



今月は多忙…といたしますか、息子を追いかけまわして、ゆっくりものを書く時間がありませんでしたので、コンサートのチラシだけでご容赦ください。

7月10日(日) Open 18:30 Start 19:00

¥2,000 (1ドリンク付き)

カフェデミタス (近鉄京都線平城駅前)



アゴラ音楽クラブ主催 秋のコンサート ご案内



メンバー募集中



あとがき

◇ もう梅雨明けかと思われる猛暑が続いています。雨では外で遊べない、でもカンカン照りでも出られない（帽子をかぶせてもすぐ脱いでしまうし）…おチビさんにとってはうらめしいお天気。



やなすの収穫に行きます。自由保育はほとんど無く英語、音楽、体操…と時間割が詰まっている幼稚園が多い昨今、なんだかホッとする風景です。

◇ 小学校の教室、扇風機が生ぬるい風をかき回す中でのアゴラ太鼓の練習がだんだんハードになってきました。が、秋のコンサートまであと1ヶ月半、体調管理に気をつけて頑張りたいと思います！皆さま、ぜひいらして下さいませ。



◇ 保育科にもここ数年男子学生が増えてきました。中には4年生の大学を出て、あるいは一旦社会に出てから「子どもに関わりたい」と保育士の資格取得を目指す男子も。保育の現場では男子は力仕事や父親的役割を担えるため重宝されるけど「給料安いから結婚なんかでけへんし」…志持って勉強して仕事について、それでも人並みに暮らしていけないって変な社会じゃない？選挙行ってちゃんと意思表示しないと。「選挙ていつあるん？行ったことないわ」…オイオイ

◇ スポーツウーマンの妹が還暦を迎え、「ダッシュ出来なくなった」と嘆いているのを聞いて、彼女でさえそうなのか、とちょっと安心。私も小学生時代（！）は走りも跳躍も自信があったので、その感覚がまだどこかに残っていて、ちょっと本気出せば出来そうな気がしていたのに、ダッシュどころかほんの少し駆け足ただけで息が切れるのに愕然としています。これからの目標は体力作り…と話していた矢先、駅のエスカレーターを駆け上がっていたらつまづいて転倒。恥ずかしいやら情けないやら…
(恵理子)

◇ 保育科に勤めている関係で、奈良の香芝市、二上山の近くにある幼稚園を訪問しました。二上山を借景に広い園庭、ビオトープもあり、隣接する小学校と共有の畑もあり、絵本いっぱいの図書コーナーもあるという羨ましい環境。自由保育でたっぷり泥遊びをしたあとは、きゅうり